



西本さん 横田さん

ミハラシニア編集室ママライター(三原歴7年と16年)が行く

未来へつなぐ大切な祭

コロナ禍で祭りの中止が相次ぎますが、祭りに込められた意義や思いは途切れることなく受け継いでいきたい! 市民ママライターが、市内の祭り関係者を直撃取材していきます。

Vol.3



「ご先祖様を送る 熱気ある夜の例大祭」

晩秋の夜9時ごろ、暗闇に明かりが連なり、山車(かまこ)を先頭に御神燈(ごしんとう)を掲げた氏子(うぢこ)が続く。太鼓や鉦(かね)の音が鳴り響く中、氏子(うぢこ)のにぎやかな掛け声が響き、周囲は熱気に包まれます。

例大祭前夜は、家の軒先に吊るされた御神燈(ごしんとう)に先祖が戻り、一家でだんらんするといわれています。その後、家から本宮まで先祖をお送りするのが神殿入(かみいり)です。

「ご先祖様を送る 熱気ある夜の例大祭」

大和町萩原 (はいはら) いちおかはちまの
希岡八幡神社 『神殿入』 (こうどなり) 『神殿入』
 開催時期: 11月第二週の土・日曜日
 特徴: 「ご先祖様」を御神燈(ごしんとう)(提灯)を掲げて神社本宮までお送りする行事

50年近く務めてきて中止は初めて。来年こそは何としてでもやりたいです。
 うしおさちお
 宮司 潮 禎雄さん

夜通し神楽を奉納 復活を願う伝統行事

5つの地区から集まった山車(かまこ)が境内に登ると宵祭り(よしまつり)が開始。萩原神楽保存会による神楽(かぐら)が日付を越えて奉納されます。2年前からコロナの影響で行事は中止にしていますが、毎年あるのが当然だと感じているそう。「ご先祖様がいてこそ私たち」という思いが途絶えない、地域に根付く伝統行事です。



「三原市公式note」で記事掲載中!



市長 師走



よい年を迎えるため、感染防止対策の徹底を

師も走る慌ただしい雰囲気、12月となりました。忘年会やクリスマスなど、行事がめじろ押しのも月ですね。

街中や店舗で流れるBGMからも、季節を感じます。定番ともいえるクリスマスソングや、昔ながらの「もういくつ寝るとお正月〜」の曲も、子どものころの心躍る気持ちを思い出させてくれます。

私が、「ほっ」とした気持ちで年越しを楽しむ瞬間は、大みそかにNHK紅白歌合戦が大いに盛り上がり、盛大に締めくくられたのち、23時45分にとっても静かな雰囲気「ゆく年くる年」に切り替わる時です。全国各地の除夜の鐘を聞きながら、「ああ、今年もよい年だったな」としみじみと思うものです。

コロナ禍で迎える2回目の年越しですが、市民の全ての人々が、よい年を迎えられることを心から祈っています。そのために、引き続きの感染防止対策の徹底を、共に心掛けていきましょう。

Hella! MIHARA

三原市初! ハワイ出身の国際交流員コラム

Vol.3



国際交流員 横川あいさん

「Aloha」を思い出す三原の第一印象

私は東京での待機期間を終えて、10月中旬に三原市に来ました。三原には自然が多く、色づきはじめて木々がきれいでした。これからハワイにはない四季を感じられることを楽しみにしています。

三原に来てまだ間もないのですが、皆さんがとても親切で思いやりにあふれていることに気づき、ハワイの「Aloha」という言葉を思い出しました。この言葉は、よく挨拶として使われますが、実はいろいろな意味があって、その一つに「思いやり」という意味があります。ハワイでは島への訪問者に「Aloha」を見せて温かく迎えることを大切にしています。私もこの「Aloha」を三原の皆さんと共有できたらうれしいです。

●外国人相談窓口(市役所本庁4階) 問 経営企画課 (TEL) 0848-67-6270 (FAX) 0848-64-7101